

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1406
施設名	東野川保育園みんなの家
施設所在地	東京都狛江市東野川4-9-7
法人名	社会福祉法人純生喜伯会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

水（手を洗ってみよう）

<テーマの設定理由>

これまでも行ってきた「手洗い」では、子どもたちが水と触れ合う場として毎回楽しんできた。「どうやったらきれいになるかな?」と、手の洗い方や、流れていく水を大切にすることなど、子どもたちが手洗いの大切さを知り、楽しさを感じながら学べる活動と思いテーマを設定した。

### 2. 活動スケジュール

0.1歳児クラス 12名（0歳児…3名、1歳児…9名）

- ・11月～1月 毎日の手洗いで行う
- ・手洗い歌やばい菌の話聞くことで、自分できれいにする、泡の役割、水を大切に思う気持ちに気づけるようになる。
- ・手洗い活動での子どもの気づきを大切に、保育者が言葉をかけながら進めていく。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・せっけん（泡タイプ）、ペーパータオル、水道、手洗いうた

環境の設定

- ・手洗い場の近くで行うことで、手を洗う時も、待っている時も、歌や仕草で参加出来るようにする。
- ・手を洗う、手をふく、ペーパータオルをゴミ箱に入れるなど、一連の流れも安全に行えるよう、動線に配慮する。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・手洗いは子どもたちも楽しんで行っているが、泡が流れていくことが楽しい様子もあり、手“洗う”ためには保育者が一緒に行うことが多かった。手洗いうたを歌い行うことで、泡で洗うことを意識できるようにする。
- ・水を止める、手をふく、ペーパータオルをゴミ箱に入れるまでを保育者に見守られながら自分で試してみる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・手を洗う前に「どうして手を洗うのかな?」「どうやって洗おうか」と話しをしながら、手洗い歌にあわせて手を動かすと、子どもたちも一緒に手を動かし始めた。子どもたちと歌を歌いながら行っていく。
- ・実際に水道で洗ってみると、子どもたちは『ばい菌をなくそう!』という思いで丁寧に手を洗い始めた。

※詳細は2枚目以降に記載

### 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

これまでも手洗いは毎日行ってきた。子どもたちは水に触れること、泡が流れる様子や水が流れる様子を楽しんでいる様子が多かったが、手洗いうたを歌い行うことで子どもたちも“洗う”ことに意識が向くようになってきている。今後も、水で「洗う」活動を行いながら、身近な水でできることを知っていく活動を行っていきたい。

\*映像や写真を見ながら全職員で活動研究を共有し、保護者様には降園時に会話や掲示、クラスだより等で報告。子どもたちの活動内容や楽しむ様子をお伝えした。

# とうきょうすくわくプログラム 活動報告

東野川保育園みんなの家 ちゅーりっぷ組 0・1歳児(12名)

## テーマ 水

外遊びや給食、おやつの前にいつも手洗いをしています。手洗いについて、なぜ洗うのか、ばい菌をなくすこと、どうやって洗うのかを歌も交えて一緒に行い、水を感じ、手洗いの大切さを知りました。

### ① 手を洗う前に

用意したもの: せっけん、ペーパータオル



### どうやって洗う?

入園当初から、給食やおやつの前、外遊びから帰ってきたときに手を洗っていたちゅーりっぷ組さん。

「手はどうして洗うの?」と保育士が問いかけると「バイキン!」と元気な返事。「そうだねえ、ばい菌がついていると、おねつがでたり、はなみずがでちゃうね～」と話しました。

じゃあ、どうやって洗おうか、と保育士が、♪手を洗う歌にのせて実演してみました。

きらきら星の曲に合わせて、♪てのひらあらおう♪  
ゆびのあいだと つめのなかも♪

保育士の手の動きを真剣な目で見るとちゅーりっぷ組さん。保育士をまねして、いっしょに手を動かすお子さんもいます。さあ、実際に洗ってみましょう。

## ② 手を洗ってみよう

### 水道の前で

二人ずつ、水道に立って実際に洗ってみました。まずせっけんをつけて、泡を手のひらでうけとめて…「ぬるぬるする」と感触を口にする子どもたち。保育士も間に入って手洗い歌を歌いながら手を動かしました。

蛇口をひねって水を出します。蛇口のひねり方を覚えた子どもいます。

水が流れると、そっと手のひらを差し出して泡が流れところを見つめました。「ばい菌、いなくなるかな～」という保育士の問いかけに「うん」とうなずく子どもたち。泡の流れる行方を目で追っています。



### それから…

手洗いの大切さを知ったちゅーりっぷ組さん。給食やおやつの前に、「手洗いしましょう」と声をかけると、袖をまくり、嬉しそうに水道に向かう姿が見られます。

手のひらと指を使って水道の蛇口もきゅっとしめるようになりました。

## 活動を通して

導入に、「手洗い歌」を使ったことで、子どもたちの興味を引き出すことができました。水の働きという点で、子どもたちにとって身近な「手洗い」を通して、水に触れる活動を行いました。子どもの関心は、水というよりも、ばい菌をなくそう！に向いていました。

今後は、水そのものの不思議に触れられる活動を考えていきたいと思ひます。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1406
施設名	東野川保育園みんなの家
施設所在地	東京都狛江市東野川4-9-7
法人名	社会福祉法人純生喜伯会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

水（細かい水、水の動き）

<テーマの設定理由>

「水」には、細かい水、消えてしまう水など様々な水のかたちがあることを知り、探求していけるよう、テーマを設定した。

### 2. 活動スケジュール

3.4.5歳児クラス 38名（3歳児…12名、4歳児…13名、5歳児…13名）

- ・7月～8月 月3回
- ・園庭にミストシャワーを設置。涼しさを感じながら水の形の違いを感じる
- ・水槽に入った水の動きや、浮かべたものの動きを見ながら、水の動きや、水の動かし方を楽しむ

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・ミストシャワー、水道、フリー水槽、たらい、浮くおもちゃ（船、プールでリングつなぎ）

環境の設定

- ・ミストシャワーの吹き出し口の高さを調節し、水の形の変化を感じられるようにする
- ・水の動きが見えやすい形の水槽を用意。より近くで水の動きを試すことができるよう、たらいも用意する。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ミストを見つけた子どもたちは、思い思いの行動が見られ、冷たさ心地よさを感じ浴びる、容器を手に水を集めようとすると、ミストの出方や消えていく様子を見比べるなど様々であった。それぞれの遊びや探求を楽しめるようにした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・水を集めるために容器を選び、友達と協力する姿も見られた。他には簡単に水を得られる場所もあったが、子どもたちはミストを集めることに夢中になり、集まった水を大切に土に混ぜていた。
- ・水槽に手作りの船を浮かべ、手で水を動かしたり、息を吹きかけ動きを楽しんでいた。思った方向に進まないもどかしさを感じながら、息の吹き方を工夫していた。船の形や大きさを友だちにアドバイスするなど、協力して成功に繋げる姿

### 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

昨年度から行ってきた「水」活動。昨年からのいを使って水の流れ方や、水の量による色の変化、「浮くもの沈むもの」等を行ってきた。今年度は、昨年度の経験から、「浮く」「沈む」予測を立て実験する姿や、水の形の違いや、水の動き方に興味を持ち、探求する姿が見られた。ミストを浴びた子から「こういう雨だった時、あったよね」という言葉があった。今後は天候と水についても子どもたちと探求を進めていきたいと思う。

\*映像や写真を見ながら全職員で活動研究を共有し、保護者様には降園時に会話や掲示、クラスだより等で報告。子どもたちの活動内容や楽しむ様子をお伝えした。

# とうきょうすくわくプログラム 活動報告

東野川保育園みんなの家 ひまわり組3・4・5歳児(38名)

## テーマ 水

毎年行っている水遊び！数人で入るプールやシャワーだけでなく高い場所に取り付けた場所から出るミストを設置したところ、子どもたちも興味津々とわくわくが広がりました。

### ① ミスト・シャワー

用意したもの：ミストシャワー 砂場玩具

《7月》

ひまわり組3・4・5歳児は、園庭の頭上についているミストシャワーを見つけ「これ、なあに？」「おもしろそう！」とどんなふうに出るか気になる様子の子どもたち。



ミストシャワーが出てくる下に行ってみる子たち。「なんだかこれきもちいいね！」「お店のところでやったことあるのに、にてる！」と集まってきました。しばらくミストの下にいた子の帽子がしっとりと湿ってきました。「これ、なにかにいれたらおもしろいかも！」と友だち同士で考えてみる姿がありました。

友だち同士で「これで（ミニカップやスコップ）はいるんじゃない？」しばらく待ってから中を見てみると「あれ？ぜんぜんたままってないね！」とがっかりしつつも今度は少し大きめのミニバケツを持ち友だち同士で数を数えたり、歌を歌い待つこと数分…。中をのぞくと「みて！すごくない？さっきよりもたまってるよ！もっとたくさんあつめよう！」と協力し、「これでどろだんごがつくれそうだね！」と発見し今度は泥団子作りも楽しんでいました。



## ② おおきなたらいで遊ぼう！

用意したもの フリー水槽 リングつなぎ

大きなフリー水槽を子どもたちに見せてみると「みずをいれてみたい！」「なにかいれてみたいな！」そこから牛乳パックを切り絵を描いたものを浮かばせてみることにしました。



ヨットをそっと入れ、浮かぶ様子に拍手する子や、息を吹きかけると動くことに注目し「ここから（手前から奥に）どれが早くゴールするかやってみよう！」と5歳児を中心に提案がありました。



別のチームはフリー水槽だけでなく、たらいに水を入れ容器ごと少し持ち上げ水面が斜めになることで、ヨットが動くことにも注目していました。「（ヨット）だけじゃなくて、他のものもやってみようよ！」数人が、水面を叩いたり水をかき混ぜると「面白いね！流れるプールみたい！」と水面の揺れの違いを友だち同士で話す姿もありました。



＜水遊び用のリングを入れました＞

水遊びだけでなく、室内玩具として遊んでいるリングを見つけ「これいれてみたいな！」「ほしやハートがたのキラキラもいれてみよう！」「これ（シリコン制でない硬めのもの）は沈むんだね！」「こっちはどう？」と形ごとに入れてみる子や色ごとに入れて見る子などさまざまでした。

フリー水槽チーム、たらいチームともそれぞれが子どもたち自身での楽しい発見を楽しんでいました。活動終了後は、テーブルの上でヨットを息で吹いたり、箱の上に乗せ周りを叩き紙相撲のようにして遊びを発展させる姿が見られました。



## 活動を通して

去年、行っていた水活動や、子どもたちの気づきから、『やってみたい』という興味関心の広がりが見られました。水遊びの時期以外にも園庭遊びでは少し汗ばむような気温の日にはたくさん活用して楽しみました。ミストで時間をかけて集めたものを大切に園庭の砂と混ぜ合わせ泥団子を作る姿がみられました。子どもたちの気づきや、わくわくした気持ちを大切に、身近な水について触れて楽しい活動を引き続き考えて行きたいと思います。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1406
施設名	東野川保育園みんなの家
施設所在地	東京都狛江市東野川4-9-7
法人名	社会福祉法人純生喜伯会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

水（どうやったら氷ができるかな）

<テーマの設定理由>

昨年度も「水」をテーマに、氷づくりを行った。「冬」の季節に入ると子どもたちから「氷を作りたい」と声上がり、子どもたちと、どうしたら氷ができるか考え、探求していきたいと考えテーマを設定した

### 2. 活動スケジュール

3.4.5歳児クラス 38名（3歳児…12名、4歳児…13名、5歳児…13名）

- ・12月～3月 月1～3回
- ・子どもたちが氷を見つけたことをきっかけに、氷づくりが始まった。
- ・昨年度の経験から、場所や容器の提案や天気予報の情報等、寒い日に向けて準備を行っていく。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

- ・砂遊びバケツ、型抜きカップ、たらい、水

環境の設定

- ・自分で選んだ容器に水を入れ、場所を選びおいておく。様々な容器から選べるよう種類と数を用意しておく。
- ・朝のお掃除の先生や乳児クラスの子どもたちが水や容器を片づけないよう伝えに行く。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・園庭の水たまりに氷ができているのを見つけ、昨年の水活動経験に続き、氷づくりが始まった。たらいやバケツに水を入れ、毎朝確認しながら、容器や置く場所など、それぞれの子どもが探求していけるようにする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・子どもの声から氷づくりがはじまった。昨年度の経験は大きく、年長児が昨年の5歳児がリードしていた内容を記憶しており、伝える姿があった。氷づくりを探究する年長児と、砂場で「カチコチの砂」を見つけた3.4歳児。寒い季節ならではのそれぞれの発見があり、探究遊びを深められるようにした。

※詳細は2枚目以降に記載

### 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

昨年度から行ってきた「水」活動の「氷」づくり。子どもたちの興味関心の大きさから、昨年度の「わくわく」が今年も続いている様だった。自分で天気予報を見て得た情報を伝えるなど、知ろうとする興味や知識の広がりも感じられた。水活動の経験を通し、水たまりの泥の混ざる様子や水の色の変化をじっくりと観察する姿も増えた。5歳児は、蛇口を閉めた後に再確認したり、手洗い場を点検するなど、水を大切に作る姿も増え嬉しく思う。

\*映像や写真を見ながら全職員で活動研究を共有し、保護者様には降園時に会話や掲示、クラスだより等で報告。子どもたちの活動内容や楽しむ様子をお伝えした。

# とうきょうすくわくプログラム 活動報告

東野川保育園みんなの家 ひまわり組3・4・5歳児(38名)

## テーマ 水

子どもたちがいつも過ごしている園庭で、寒い時期の水の変化の様子に気づき、試行錯誤しながら、興味関心を広げていくことをねらいにテーマを設定しました。

### ① 氷をつくろう！

用意したもの 砂遊びバケツ、型抜きカップ、たらい

12月終わりが、5歳児さんが園庭のカバーにできた水たまりに氷ができているのを見つけ「去年作った氷をもう一回作りたい」と、氷づくりが始まりました。

タライやバケツに水を入れ、自分で置いた場所に毎日確認しに行きますが、なかなかできません。



1月初めの寒い日に「氷ができてるよ！」とみんなにお知らせしてくれました。

3、4歳児さんも、氷を触らせてもらおうと、自分たちも『やってみたい』と声があがりました。

保育士が『それならみんなで氷を作ってみるのはどうかな？氷ができそうな場所を探してみよう』と伝えると、子どもたちはいつも使っているバケツや型抜きのカップなどを使って、友だちと一緒に考えながら置いていました。



次の日の朝、見に行くと「こっちはできてる！」  
「私のはできてない」「うすくてきらきらしてる」と保育士や友だちと伝えあう姿がみられました。

その後も氷づくりを続けていた5歳児さん。ある日、「おおきなこおりができたよ」と見せてくれました。



## ② カチコチの砂を探そう！

用意したもの 砂遊びセット、たらい

5歳児さんが作っていた氷が初めてできた日に、砂場で遊んでいた3歳児さんが「せんせいカチコチの砂があったよ」と教えてくれました。



保育士が子どもたちに氷づくりの話をした時に『カチコチの砂』が見つかったことも一緒に知らせると、「チョコレートみたい」「砂が凍っちゃったんじゃない？」と話していました。

「今日はあるかな?」「ぜんぜん固いの見つからない」とカチコチの砂探しを続けていた3・4歳児さん。保育士が、砂場に水を撒いてみようかと提案し、一緒に水を撒きました。次の日「カチコチの砂がある!」「こっちにもあるよ!」と一生懸命掘りだしていました。



「こっちの白いところはかたいの無い」「かたくて掘れないよ」「ぐって力を入れたらできるよ」「こんな大きいのみつけた!」「大きいのをたくさん集めたよ」固くなった砂の掘り出し方を教えてあげたり、砂の形や大きさを比べて楽しんでいました。

「カチコチの砂、水に入れたらどうなるかやってみよう」と思い付いた3歳児さんと、他の子どもたちも一緒に、砂を入れてみると「どろどろになった」「バスボムみたい」と話し、最後はタライの中で水と砂を混ぜるのを楽しんでいました。



## 活動を通して

去年行っていた水活動や、子どもたちの気づきから、『やってみよう』という興味関心の広がりが見られ、寒い時期ならではの戸外遊びの楽しさ、『わくわく』をたくさん感じることができました。3月には散歩先の公園で見つけた水たまりに集まって、木の枝を使って水と泥が混ざりあっていく様子を楽しんでいる姿もありました。子どもたちの気づきや、わくわくした気持ちを大切に、季節や天候などによる水と砂の変化にも注目しながら活動を考えていきたいと思えます。

